

Respite Stellam, Voca Mariam !



小鳩会通信

～私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。

けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。～マザー・テレサ

能登半島地震緊急支援

～私たちにできることを考え、実行しましょう。～

2024年1月1日に発生した能登半島を中心とした大地震は、各地で甚大な被害をもたらしています。今回の災害で亡くなった人は200人以上となり、負傷者、行方不明者は500人、避難者数は1万人を超えています。しかし、被害の全容は未だ判明していません。先月の小鳩会献金はカリタスジャパンとRDD石川を通じて、被災された方々の支援に用いられています。今月も被災したカトリック教区を通じて、被災者支援活動に用いいただきます。

ルワンダの教育を考える会継続支援

ルワンダの教育を考える会は、ルワンダのウムチョムイーザ学園の支援をしています。理事長の永遠瑠（とわり）・マリールイズさんは、1990年代に民族紛争による内戦を経験されました。そして、「無知が内戦を引き起こした。教育があれば内戦は防げたかも知れない。」という思いから、民族や政治思想を超えて子どもたちに学ぶ機会を提供するという理念を掲げ、孤児や学費の払えない家の子どもにも門戸を開く、ウムチョムイーザ学園を設立されました。小鳩会は学園の創立当初から20年近く支援を継続しています。



若王寺こども食堂ボランティア活動報告

12月23日（土）、若王寺こども食堂にボランティアに行きました。ボランティアに参加した方の感想を紹介します。

● 僕は子ども食堂に行くのが初めてで、最初は少し緊張していたけれど、実際は、僕が思っていたよりもにぎやかで楽しい雰囲気だったので、マジックをしやすく、そのおかげで、僕の緊張もほぐれていきました。子ども食堂の為に、マジックの練習はあまりしていなかったので、失敗もしましたが、頑張っって色々なマジックをして様々な人におどろいて様々な人に驚いてもらえました。春休みの子ども食堂も参加したいと考えています。

● 僕は中1ですが子ども食堂に参加するのは今回で二回目でした。前回と比べてマジックは上手くなったうえ、コロナの影響が小さくなったというのもあり、前回よりも楽しみにしていましたし、緊張もあまりしなかったのでマジックも成功し、かなり驚いてもらったので嬉しかったです。また春休みの子ども食堂にも参加してより多くの人にマジックを見せたいです。

● 今回で子ども食堂に行くのが2回目です。今回はクリスマスも近かったということでクリスマス仕様の子ども食堂でした。具体的に何をしたかという食べ物配るのがメインでした。僕は、残ってるナゲットをまだ欲しいという方々に配る役割などをしました。配った後に「ありがとう」と大きな声で言ってくれて子ども食堂はとても元気をもらえる所だと思いました。反省点は、エプロンを学校に忘れて先生に貸してもらったことです。次回の子ども食堂ボランティアにも参加したいと思いました。

● 僕は初めて子ども食堂でのボランティアをしました。初めてのボランティアだったので何をやるのかがわからなくて不安でしたが、現地の方がすごく優しく何をすればいいか教えてくれました。飲み物を配っている時に子どもたちが「ありがとう」と言ってくれ、とても心が温まり、やりがいも感じました。もし時間が空いていれば、また行こうと思いました。



◆今回の献金期間◆

3月11日（月）～3月16日（土）

小鳩会委員は、担任の先生と相談して、献金期間のうち都合のよい機会を活用してクラス献金をお願いします。

◆今回の献金先◆

- カトリック名古屋教区・・・能登地震災害支援
- ルワンダの教育を考える会・・・ルワンダのウムチョムイーザ学園の教育支援

2月6日（火）保護者会募金

2月6日（火）、寒さの中、保護者会募金を行いました。今回は能登地震の緊急支援でカリタスジャパンとRDD石川のために献金をお願いしました。多くの保護者の方々が足を止めて、ご支援くださいました。また、生徒の皆さんも、下校時に募金して下さる姿を目にしました。お一人おひとりの思いが、被災された方、亡くなった方、いまだ行方不明になっている方、家族を失った方など、悲しみの中にある方々の、慰めと励ましになりますように、これからも祈っていきましょう。



ボランティア募集

3月20日（水・祝）に、「若王寺こども食堂」（JR東西線塚口駅集合予定）のボランティアを計画しています。募集人数は10名程度です。参加希望の高校生（クラブ単位での参加の場合は中学生も可）は、3/14までに職員室の中央扉入ってすぐの宗教部・佐々木先生の机上の申込用紙に必要事項を記入してください。

